

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

| |
|--------------------|
| 記入日: 2021年 12月 30日 |
| 事業所名: 夢門塾ゆうゆう津山 |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|--------------------------------|--|----|-----------|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である | 3 | 1 | | 器具の設置に配慮している。室内のスペースを確保し、活動に取り組む配慮をしている。 |
| | ② | 職員の配置は適切である | 4 | | | コロナ対策も含め、配置をしている。 |
| | ③ | 衛生面の管理が行き届いている | 4 | | | 職員全体で感染症マニュアルに基づいて実施している。来所時は、手洗い・うがい・手指消毒を必ず行っている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | | | 職員全体で、毎月ミーティング等を行っている。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている | 4 | | | 2019年度より実施している。保護者様の意見を把握し、職員全体で共有し業務改善に繋げるように努めている。 |
| | ⑥ | 自己評価の結果を公開している | 4 | | | 2019年度より実施している。 |
| | ⑦ | 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している | 4 | | | コロナ対策の為、オンラインによる研修参加や、会議等には必ず参加している。職員全体に周知しスキル向上に努めている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑧ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている | 4 | | | 相談専門員の方の計画や、アセスメントを基にケアカンファを行い個別支援計画を作成している。 |
| | ⑨ | 活動の計画をチームで行っている | 4 | | | ミーティング等を行い、職員全体で意見を出し合い活動の計画を考案している。 |
| | ⑩ | 活動の計画が固定化しないよう工夫している | 2 | 2 | | 月の予定で、季節や年中行事を立てている。毎日ミーティングを行い、利用者様のニーズに合わせた取り組みができるように活動計画を考案し、見直しを立て活動できるように工夫している。 |
| | ⑪ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している | 2 | 2 | | 休日、長期休暇には、平日の時間では取り組めない課題を設定し、社会性をより身につけられる内容を取り入れた支援を行っている。 |
| | ⑫ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している | 4 | | | 子どもの状況に応じて、適宜組み合わせ活動を計画し実行している。 |
| | ⑬ | 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | | | ミーティング等で、各職の役割や個別の支援を共有し報連相も必ず行っている。毎日、必ず日誌を記入し職員全員が周知している。 |
| | ⑭ | 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | 個別記録を毎日書いている。また、その日の振り返りも行い支援の改善に繋げている。 |
| | ⑮ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | 実行できている。 |
| ⑯ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 2 | 2 | | 入社時にガイドラインを理解するようにしている。基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。 | |

| | | | | | | |
|---|-----------------------|---|---|---|----------------------------------|--|
| 関係機関、保護者様との連携 | ⑰ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 4 | | | 連携を常に取り情報共有している。 |
| | ⑱ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている | 4 | | | 訪問等を行い情報共有している。 |
| | ⑲ | 子供を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している | | 4 | | 対象児童なし。 |
| | ⑳ | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | | | 津山自立支援協議会子ども部会に在籍し情報共有し連携を取っている。研修等にも参加し、職員全員で情報共有し周知している。 |
| | ㉑ | 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている | 4 | | | 送迎時での保護者様の会話で児童の状況を共通理解するように努めている。また、児童の様子等連絡帳コドモンでもお伝えしている。 |
| 保護者様への説明責任等 | ㉒ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている | 4 | | | 契約時に説明を行っている。 |
| | ㉓ | 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている | 4 | | | 送迎時、来所時、電話等で対応を行っている。 |
| | ㉔ | 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している | — | — | — | コロナ対策のため本年度は開催が困難であった |
| | ㉕ | 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | | 子どもや保護者様からの苦情等、迅速に対応し必要に応じて相談支援専門員の方を含め対応している。 |
| | ㉖ | 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している | 4 | | | 毎月、行事予定、おたよりを発行している。ブログにて活動の様子を公開している。 |
| | ㉗ | 個人情報保護に十分注意している | 4 | | | 契約時、個人情報の説明を行い同意書をいただいている。職員全員が、遵守し取扱いには注意している。 |
| | ㉘ | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | コドモン連絡帳等の活用。場面に応じて個別に視覚支援等の活用を、丁寧にわかりやすく配慮している。 |
| 非常時などの対応 | ㉙ | 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている | — | — | — | コロナ対策のため本年度は活動が困難であった。 |
| | ⑳ | 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している | 4 | | | マニュアルを事業所内に設置し周知している。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている | 4 | | | 避難訓練等、年2回実施している。 |
| | ㉒ | 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | | | 職員全体で研修に参加している。 |
| | ㉓ | いかなる場合も身体拘束を行うが旨かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している | 4 | | | 契約時、必ず説明している。 |
| | ㉔ | 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている | 4 | | | 必ず職員2人体制で確認を行っている。 |
| ㉕ | ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している | 4 | | | 職員会議やミーティング等で職員全体で情報共有し改善に努めている。 | |
| 保護者様評価、自己評価についてまとめ | | | | | | |
| <p>新型コロナウイルス感染症対策に伴い、開催が困難だった活動や行事等がありました。保護者会等の開催も難しく、保護者同士の連携や情報共有等の場の困難さがありました。オンライン等の活用も取り入れながら、連携や情報共有等の場を広げ自粛活動の中でも取り入れられる事を増やしより良い支援に繋がるように努めてまいります。また、活動内容等の取り組みにも工夫を凝らしニーズに沿った活動や支援を行ってまいります。お子様に寄り添い、安心して楽しく通っていただける環境づくりに努めます。</p> | | | | | | |